

かれい

嘉例のながれ

江迎小 学校だより
令和5年度 第5号
令和5年6月7日発行
文責：校長 岩谷 豪



※学校ホームページ QR コード

いのちを見つめる日

～わたしたちにとって一番大切なものは「いのち」です～

6月1日は、いのちを見つめる日です。佐世保市の小中学校では全校朝会を行い、いのちの大切さについて考えています。また、6月はいのちを見つめる強調月間として、学校開放週間や授業参観等をとおして、学校・家庭・地域が一緒にいのちについて考えます。

全校朝会で校長から子どもたちに話をした一部を紹介します。



「どうしていのちは一番大切なんですか。」

①私のいのちは世の中にたった一つしかありません。

②そして一度失ったいのちは二度とよみがえりません。ゲームの世界では生き返られるけど、現実の世界では絶対に生き返りません。だから自分のいのちを粗末にはしてはいけません。

③そしていのちの重さ・いのちの価値は、自分も周りにも同じなのです。自分だけ大切なのではないのです。隣のお友達のいのちも自分のいのちと同じように大切なのです。

「私たちにいのちをくれた人はだれでしょう」

お父さんとお母さんですね。では、そのお父さんとお母さんにいのちをくれたのはだれですか？おじいちゃん、おばあちゃんですね。おじいちゃんおばあちゃんにいのちをくれたのは、ひいおじいちゃんひいおばあちゃんですね。このようにご先祖様がつながって私たちのいのちをくれています。私たちはご先祖様のいのちをもらって生きているわけです。いのちは目に見えないけどずっとずっとつながっていくのです。だから自分のいのちは自分だけのものではないのです。家族のみんなもみなさんのことを大切に思っています。

その後、詩を朗読しました。

最後に「皆さん一人一人が、自分の『いのち』を大切にしながら一生懸命生き、そして人への思いやりを忘れない人になってほしいと思っています。『笑顔が輝き、優しさあふれる学校』をみんなで作っていきましょう。」と締めくくり、話を終わりました。

この1か月間はいのちの大切さについて、様々な活動や学習を通して考えていきます。

～6月(いのちを見つめる強調月間)の取組～

- 6月1日 いのちを見つめる日・全校朝会(校長講話)
1日 学校保健委員会(PTA 保体部 民生児童委員・学校医・学校歯科医・教員参加)
2日 プール清掃(5・6年)
9日 保健集会
23日 田植え(5年生)
26日 幼稚園との交流(1年生)
29日 佐世保空襲の日(平和集会)

◎江小っ子の心を見つめる週間

(6月12日～16日)※教育活動を公開します。

ご都合のいい時間に、ご来校ください。詳しくは別に配付した案内をご覧ください。

- 13日(火) 道徳授業参観・懇談会
(2・4・6年) 13:55～
音楽鑑賞体験教室(5年生:アルカス佐世保)
15日(木) 芋さし(3年生) 9:50～
16日(金) 道徳授業参観・懇談会
(1・3・5年) 13:55～



～地域のみなさんありがとうございます～



5月23日、2年生が地域の方、保護者の皆さんと一緒に、菜種の収穫を行いました。

5月31日、5年生は「田植え」の準備で地域の方が「耕うん機」を使って「代かき」をしてくださる様子を見学しました。ありがとうございます。

5月26日、今年も潜龍酒造の方が酒造りのしぼり汁をもってきてくださいました。藤の木の根元にかけてあげると花の色がよくなるそうです。運動場の藤の木は中央公園の藤の木からいただいた大切ないのちです。

※子どもたちが安全に登校できるように、各地区で通学路の草払いもしていただきました。感謝、感謝です。

～学校運営協議会を開催しました～

5月31日第1回学校運営協議会が開催されました。

学校運営協議会とは江迎地区コミュニティスクールの目的を達成させるために学校、地域、保護者の代表が組織をつくり、学校運営に対する地域住民の参画と連携の強化を促進させ、地域の特色を生かした学校づくりに取り組むための会です。今年度も「夢をもち、豊かな心で、仲間と共に学び、地域と共に生きる児童生徒の育成」に努めてまいります。様々な形で地域や保護者の方々にご協力をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

